

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第120号 2013年11月

やどりき水源林ニュース

発行(公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

台風後の水源林



いつまでも真夏日が続くのかとうんざりしていた今年も、その後の立て続けの台風の襲来の後にはめっきり肌寒くなりました。

台風26号は全国各地に様々は被害をもたらしました。ここ、やどりき水源林も、一部に台風の爪あとが残りました。

それでも、一連の台風が過ぎた2日後には、水源林を流れる寄沢の流れは水量こそ増えたものの、既に澄み切って流れていました。これも、寄沢周辺の豊かな森林がしっかりと支えてくれているからです。



周遊歩道Aコースの崩れと、通行止めの標識



酒匂川の源流のひとつの寄沢(やどりきさわ)の澄んだ流れと河畔のアケビの実

秋の水源林の動植物

実りの秋の「どんぐり」。今年は例年になく豊作のようです。どんぐりとはブナ科植物の木の実に、日本には約20種類あります。一口にどんぐりと言っても、形や大きさ、帽子みたいな殻斗(かくと)の形や模様が異なります。クリは「どんぐり」の仲間ではないのですが、水源林のクリも良く実りました。



シラカシ



アラカシ



クヌギ



ミズナラ



ブナ



クリ

水源林を彩る秋の花々



ノコンギク



タイアザミ



ジュウガツザクラ



ヤクシソウ



イワシャジン



リュウノウギク

台風の後のミミズを狙ってきたのか、アズマヒキガエル(ガマガエル)が林道で瞑想



人が立ち入れぬ斜面にはカモシカ君。猫のように首を掻いたり、ゆっくりと草を食んでます

11月のトピックス

これから、本格的な秋のシーズン。水源林も紅葉を始め、色とりどりの装いを見せてくれます。そんな秋を、しみじみと味わう散策も一興です。



12月の水源林

凜とした空気の中。森の案内人は2月末までお休みさせていただきます。来年3月にまたお会いしましょう。

